

議会報告会実施報告書

1. 開催日時	平成25年8月25日(日) 14時00分~16時00分	
2. 開催場所	アルカス SASEBO イベントホール(佐世保市三浦町2-3)	
3. 出席議員	班長 楠 大典 副班長 八江 利春 司会 山口 初實 記録 松島 完 記録 中島 浩介	班員 野本 三雄 江口 健 下條 ふみまさ 高比良 元 浜口 俊幸 前田 哲也
	【オブザーバー参加】 吉村 庄二 中島 琢義 山田 朋子 清水 正明	
4. 一般参加者数	65名	
5. 実施内容報告		
(1) 県政報告会		
② 報告内容	※別紙のとおり	
④ 主な質疑	<p>1. 子供会に係る対策について 【質問】地域の子供会をもっと活用して、次代を担う子供を育てるような施策ができないか。</p> <p>【答弁】現在、第二期教育振興計画の見直しを行っているところ。教育庁義務教育課で、子供会の優秀な県内事例をつくっているので優秀事例を参考にしながら県内に普及できるように取り組んでいる。</p>	

<p>(2) 意見交換会</p> <p>① テーマに基づく意見交換の概要</p>	<p>1. 石木ダムについて 【要望】佐世保市の財政状況を考え、石木ダム建設ではなく下の原ダムの嵩上げの方が、費用対効果があるのではないか。代替案を検討して欲しい。 【答弁】ご意見として承る。</p> <p>2. 佐世保線へのフリーゲージトレインの乗り入れについて 【要望】佐世保線にフリーゲージトレインを直通運行して欲しい。長崎線と同時開通して欲しい。 【答弁】フル規格を、という声もあがっており、フル規格となる場合は佐世保方面は路線から切り離される。しかし現状は県、市ともに、フリーゲージを通してほしい、と国に要望している状況。フリーゲージを通すとしても既存の線路そのままでは難しいので、今ある線路等を見直しながら可能性を追求していく。</p> <p>3. PM2.5 対策について 【要望】こどもたちがマスクをして登校している現状があることから、九州各県と連携して、国に対してしっかりとしたPM2.5の対策を要望して欲しい。 【答弁】ご要望として承る。</p>
<p>② 自由な意見交換の概要</p>	<p>1. 長崎の教会群とキリスト教関連遺産の世界遺産登録について 【要望】ホームページがキリスト教関連の静止画像になっている。動画（ユーチューブ、フェイスブック）を活用して宣伝して欲しい。 【答弁】ご要望として承る。</p> <p>2. 空襲資料館の整備について 【要望】戦争を語り継ぐ人たちも高齢化して少なくなってきているため、空襲資料館の整備をお願いしたい。 【答弁】ご要望として承る。</p> <p>3. 佐世保駅への新幹線の乗り入れについて 【要望】長崎新幹線について、フリーゲージトレインが導入されたら、絶対に佐世保駅までフリーゲージトレインが来るように、ぜひお願いしたい。 【答弁】ご要望として承る。</p> <p>4. 諫早湾干拓について 【要望】諫早湾干拓の開門調査について、長崎県の農業者、漁業者双方にいい結果となるような後押しをして欲しい。</p>

【答弁】県としては、まず住民の生命と財産を守るために、潮受け堤防の開門には反対している点をご理解いただきたい。地域の住民が大雨の際も安心して暮らせるのは諫早湾干拓事業あればこそ。現状では維持管理費の数億円しかかっていないが、今後開門するためには600億円以上の補修工事が必要となる。そのお金を開門でなく漁業振興に充ててほしいと、県として国に要望している。

5. 県庁舎移転について

【要望】将来は道州制になるかと思うが、立派な庁舎ができた時にどうなるかと思う。江迎町や小佐々町の新しくできた庁舎が、佐世保市と合併して、がらんとなっている。その二の舞にならないように。

【答弁】これまで色々な方法で県民の皆さんのご意見を聞き、現状は11月いっぱいで設計が完了するという段階。道州制が導入されても、地域に分庁舎は必ず必要。長崎に分庁舎がないということになれば、地域にとってデメリットとなる懸念がある。是非前向きな理解をお願いしたい。

6. 人口減少への対策について

【要望】人口減少が収まるような施策を県議会でぜひ考えて欲しい。

【答弁】自然減と社会減の双方が本県の人口に大きな影響を与えており、特に若い人たちが県外へ流出し、戻ってこない点が問題。若い人が県内で生活ができるような社会環境、特に雇用機会の拡充と、そのための製造業を中心とした産業の振興が重要で、とりわけ地場企業の体力強化が必要。そのための施策に今後も県として取り組んでいく。

7. 不登校問題について

【要望】不登校の問題に関して、スクールカウンセラーや講演だけの施策ではなく、もっと他の施策を考えて欲しい。

【答弁】ご要望として承る。

6. その他特記事項

【質問】県議会通年議会のメリットがわからない。

【答弁】通年議会の導入により、議長の裁量で機動的に議会を開催することができるほか、委員会活動、協議会活動を主体的に行うことができる等のメリットがある。

先に開催した議会報告会の概要について、以上のとおり報告します。

平成 25 年 9 月 5 日

長崎県議会議長 渡辺 敏勝 様

B 班

班 長 楠 大典 

記 錄 松島 完 

記 錄 中島 浩介 